

2023年3月15日

広報資料 TT23007

地域の魅力をメタバース化して国内外に発信 LINE 連携も可能な「地方創生メタバース」をリリース

～ 仮想とリアル融合により地域を活性化し、デジタル田園都市国家構想の実現に寄与 ～



東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、社長：百木田康二）は、地域に存在する観光地や名所、文化財、特産品などの観光資源をメタバース化し、その魅力を国内外に発信することができる「地方創生メタバース」をリリースしましたので、お知らせいたします。

「地方創生メタバース」とは、地域に存在する観光地や名所、文化財、特産品などの観光資源をメタバースで再現し、オンライン上で周遊体験をしたり、地域を忠実に再現した仮想空間の中で住民の皆さんと国内外の方々がアバターを通じて音声や多言語対応可能なチャットを通じて広くコミュニケーションをとることができる仕組みです。アプリ等のインストールは必要なく、インターネットに接続できる環境であれば誰でも簡単に利用できることから、オンライン上での周遊体験を通じて、その地域を訪れたことがない方への観光や移住へのPRにご活用いただけます。2022年9月に東京で開催された「ツーリズム EXPO ジャパン 2022」においてデモンストレーション版をご紹介して以降、すでに、佐賀県や宮城県村田町、和歌山県田辺市龍神村などの自治体や地域には先行してご活用いただいております。（実績については別紙参照）

今後、仮想空間を利用して地域の特産品などを販売するオンラインショップへの対応や、LINEとの連携も含めて機能を充実させ、地域の知名度向上や情報発信、関係人口の創出・拡大、特産品の販路開拓等、地域が抱える様々な課題に対し、デジタル技術を活用したソリューションの提供を行なっていく予定です。

当社はこれからも、デジタル技術を活用したソリューションを提案するソーシャルイノベーション事業を推進し、自治体や地域の皆さまと連携しながら地域に存在する観光資源を新たな観光コンテンツとして磨き上げ、地域の課題解決に貢献してまいります。

以上

報道関係の方からのお問合せ

東武トップツアーズ株式会社 経営戦略部 広報担当 TEL:03-3622-6215

< 参考 > メタバースに関する東武トップツアーズの取り組みについて

1, 地域における課題解決に向けたメタバースの活用例

2022年9月以降に、地域の観光振興や関係人口の創出、地域活性化を目的として、自治体や団体と連携してメタバース化の実証を行いました。実績につきましては以下の通りです。

宮城県村田町（街並み・博物館・展示品）

和歌山県田辺市龍神村（橋・博物館・展示品）

佐賀県（遺跡）

福岡県北九州市（街並み）

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会(出展ブース・和牛)

九州DXシンポジウム(古賀市長のアバター)

上記の他、会議イベント等での実証を行っています。



2, 大学生を対象としたメタバース制作研修の実施

「人」が主人公、財産であることを経営の根幹に据える当社では、不足するデジタル人材の育成にも注力し、大学や都内の小学校に対してメタバース構築の出前授業などを行なってきました。

2022年12月には、大学生を対象としたメタバース構築研修を実施。事前の募集では、定員50名に対し全国から200名を超える応募があり、いわゆるZ世代から大きな反響がありました。参加した大学生の皆さんは、延べ3日間の合宿を含む2か月にわたる研修の成果として、各々の地元地域の魅力を引き出すためのメタバースを制作してもらいました。そのうちの9作品（京都、倉敷、大宰府など）は優良事例として公開しています。



◀大学生を対象とした研修の様子(左)と、作品例(右)

※上記1、2に関する詳細につきましては、地方創生メタバース特設サイト (<https://www.dx-tobu.com>) よりご確認いただけます。

3, 今後の展開について

2023年4月以降、全国47都道府県にある当社支店を窓口として、メタバース導入の支援その他ソリューションの提案を行なっていきます。お問合せ等詳細については下記までお願いいたします。

東武トップツアーズ株式会社 ソーシャルイノベーション推進部

全国支援室 Web3.0 チーム担当

TEL : 03-5348-3780

MAIL : cs_meta@tobutoptours.co.jp

以上